

ふるさと再発見の旅 第3回 加西西国33ヶ所霊場めぐり

昨年好評だった「加西西国33ヶ所霊場めぐり」(バスで霊場を巡ります)を今年も実施します。

ご朱印をいただくだけでなく、お寺の由緒や霊験を知ることでもあります。多数のご参加お待ちしております。

日時：7/11(水) 9:00出発

(8:40受付開始) ※小雨決行

場所：アスティアかさい1階観光案内所前

巡拝先(予定)：白龍山宗寿寺、尾崎山光福寺、圓重山明光寺、青嶺山奥山寺、玉生山宝泉寺

参加費：300円(諸経費等)

持参品：弁当(おにぎり2個程度)、お茶、朱印帳(依頼される方)

定員：25名(当日参加申込は不可)

問合・申込先：加西市観光まちづくり協会(観光案内所)

☎・FAX④8823



奥山寺：多宝塔

あなたが加西をPR! 歴史街道ボランティア ガイド募集

加西市の名所旧跡を訪れる方々を案内してみませんか。先輩ガイドが丁寧に指導します。まず一度、観光案内所(アスティアかさい1階)をのぞいてください。

問合・申込先 加西市観光まちづくり協会 ☎④8823

バザーのお知らせ

6/29(金) 午後2時より北条東幼稚園にてPTAバザーを開催。

ヨーヨーつりやわたがし等の催しものの他、各家庭から持ち寄った日用品や雑貨品、地域の方々よりご提供頂きましたおもちゃや切り花など出品予定です。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

加西のため池～『ため池の水草』

播磨ウェットランドリサーチ代表、
兵庫・水辺ネットワーク幹事 **松本 修二**

ため池は独特の生態系が形成され特有の植物が生育しています。その代表格が水生植物(水草)で、加西市は全国的にも種類が多い地域です。陸上植物と違って水の中で生育する特殊に進化した一群で、生育形により大きく4つに分かれます。加西市でよく見られる水草を生育形別に説明しましょう。

まず、一つ目は水中の池底に根を下ろし、茎が空中に出るタイプで抽水植物といわれる水草です。浅瀬を好む種類が多く、ヨシやマコモ、ガマ、ヒメガマで、平地の民家近くの池によく見られます。端午の節句になじみ深いシヨウブも含まれます。

二つ目は葉を水面に浮かべる浮葉植物で代表種にヒシがあります。栄養分を好むため、ヒメガマなどとともによく見られます。スイレンの仲間であるヒツジグサも丘陵地の清澄な水を湛えるため池に生育しています。他にはササの葉によく似たヒルムシロやこれを小さくしたようなホソバミズヒキモがあります。このタイプは絶滅危惧種が多く、ガガブタ、ヒメコウホネ、マルバオモダカなどが見られます。

三つ目は植物体すべてが水中にあり、根は池底で固定し



生育するタイプで沈水植物といいます。クロモやオオトリゲモ、イバラモ、セキシウモなどの昔から藻と呼ばれる種類ですが、れっきとした花の咲く植物です。

四つ目のタイプは浮遊植物で、水面に浮いているウキクサ類や水中を浮遊する食虫植物のタヌキモ類が市内の多くのため池に見られます。

このように加西市のため池は身近にありながら多様な水草が見られる類まれな自然環境といえます。近年、水辺環境の激変で水草の多くが絶滅に瀕しています。加西市においても例外ではありません。そのため水草などを保全する環境づくりが行われようとしています。